

D 類 (公共サイン)

特 別 賞

道路標識 (名神高速道路標識)

日本道路公団

Category D.....Public signs

Special Prize Traffic Sign (along the Nagoya-Kobe Express Way)

Japan Highway Public Corporation

SDA 賞を受賞して

名神高速道路の案内および確認標識に対して、SDA特別賞を頂戴し、まことに喜びにたえません。

この標識のデザインは一人のデザイナー、一つの組織だけの成果ではありません。関係団体の名前をあげていかに多くの人々がそれぞれの分野で協力したか理解していただきたいと思います。

事業主体 日本道路公団 高速道路計画部
研究諮問機関 高速道路調査会標識分科会
デザイナー 環境開発センター

(特別参加) 原 弘, 栗津 潔
泉 真也, 杉浦康平

施工 日本鋼管加工製品部
関連諸会社

今回の受賞の対象は、最終的にまとめられた現行の標識デザインそのものではなく、それをもたらしたデザイン過程での各分野の努力とその背後にある製作意欲の評価と激励にあったと考えています。

デザインの過程としては、日本道路公団およびその外郭研究団体である高速道路調査会の標識分科会が技術的問題点、すなわち標示すべき内容、文字の大きさ、色等の検討を外国の例も参考にしながら行ないました。その後グラフィックデザイナーや工業デザイナーの参加を積極的に求め、そこでまとめられた試案を東村山のテストコースに実物大の模型を設置し、一般の利用者にも協力をあおいで実験し、その結果を分析しこの成果を得ました。

デザイン決定までにはいくつの審議機関、決裁過程を経たため、デザインとしては折衷案

となりました。シンボル化を主張するデザイナーとしては充分能力を発揮できなかったし、主としてアメリカの標識の記述方式を基本とする公団としても完全に満足したものにはなりませんでした。

しかし、民間企業との密接な結びつきで成長して来たグラフィックデザイナーたちがこの種の公共事業に始めて意欲的に参加し、情報提供のシステムの問題まで意見を述べ、また公団は、デザイナー達の提案を前向きに検討、可能な範囲で採択した点は評価していただきたいと願うとともに、今度のSDAの受賞はこの分野へのデザイン界の進出意欲を反映したものとして大いに今後のご協力を期待する次第です。

(松本 洋記)

